

令和元年度 国語科授業の略案 (1年)

月日 (校時)	単元名	教材名
9月11日(水) 3校時	おはなしを たのしもう	ゆうやけ
本時のねらい (本時6/8) ○自分ときつねのこの似ているところを自分の経験と結び付けて見つけることができ、それを伝え合うことができる。		
評価規準 読 自分ときつねのこの似ているところを文章の内容と自分の経験を結び付けて相手に話している。		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 10:35	1. ペアで前時の振り返りをする。 2. 「ゆうやけ」を読む。	
【展開】 課題把握 10:40 ・問いの共有 ・シラバス 10:45 自力解決 集団解決 ・ペア学習 ・全体学習 11:00 ・考察 まとめ 11:15	3. 本時の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> きつねのこと じぶんがにているところを みつけて 伝え合おう。 </div> 《1人でチャレンジ(8分)・ペア学び(5分)・全体学習(15分)・まとめ(5分)・振り返り(5分)》 4. 本文を読んで、似ているところにサイドラインを引く。 ○「ゆうやけ」の本文から自分と似ているところを見つけて、赤線を引きましょう。 ・おがわのみずにすがたをうつつして、うっとりしました。 ・みずあそびをしようかとおもいましたが、ズボンをよごしたくなかったので、やめました。 ・ズボンのことをわすれてしまい、ころげまわったり、とびはねたりしました。 ・りょうてをポケットにつっこんで、にっこりしました。 5. ペアで交流する。 ○ペアで自分の似ているところを発表し合ひましょう。 ・新しい服を着て、鏡を見てうっとりしたことがある。 ・雨の日はよごれるから新しい靴は、はかないなあ。 ・水たまりで遊ぶことがあって新しい長靴がよごれたことがあった。 ○全体で考えを発表してください。 ・「おがわのみずにすがたをうつつして、うっとりしました。」というところが似ていました。理由は、新しい服を着て鏡を見てうっとりしたことがあるからです。 ・「りょうてをポケットにつっこんで、にっこりしました。」というところが似ていました。理由は新しい服をほめられて恥ずかしくてにっこりしたことがあるからです。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> きつねのこと にているぶぶんは、() なところだった。 </div>	キーワード <u>だいめい</u> <u>さくしゃ</u> <u>きつねのこ</u> <u>りゆうは</u> <u>からです。</u> ・きつねのこの言動にはサイドラインを引いているので、二重に線を引くように伝える。 ・似ているところがない人は、「自分だったら」として考える。 ・支援が必要な児童には、自分だったらどう思うかを考えさせ、その場で聞き取り、書かせる。
【終末】 ふりかえり 11:17	6. 学習したことを振り返る。 ・自分と比べて思ったこと ・自分を振り返って思ったこと	・学習してわかったことやこれから頑張りたいことを発表する。

(話型) 聞く側
 ○○さんと～が一緒です。ぼくは、付け足して△△だと思いました。
 (時間があれば質問をする)

(話型) 発表
 ・きつねのことにているところは()です。
 りゆうは()だからです。

読 自分ときつねのこの似ているところを文章の内容と自分の経験を結び付けて相手に話している。(発言)
 ・自分の生活と関連付けながら話すことができている人を意図的に指名し、お手本にする。
 ・考えを言いやすいように話型を用意しておく。